

(別紙)

返還ガラス固化体の輸送容器の主な測定結果について (全5基)

(英国 Sellafield 再処理工場における測定結果の最大値)

項 目		合 格 基 準	結 果				
			1 基目	2 基目	3 基目	4 基目	5 基目
			S9B130* <sup>1</sup> 28 体用	S1B130* <sup>1</sup> 28 体用	S2B130* <sup>1</sup> 28 体用	S5B130* <sup>1</sup> 20 体用	S10B130* <sup>1</sup> 28 体用
の放射 表面 密度 物質	α線を放出する 放射性物質	0.4Bq/cm <sup>2</sup> を 超えないこと	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
	α線を放出しない 放射性物質	4.0Bq/cm <sup>2</sup> を 超えないこと	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
線量 当量 率	輸送容器表面	2mSv/h を 超えないこと	0.340 mSv/h	0.343 mSv/h	0.563 mSv/h	0.321 mSv/h	0.356 mSv/h
	輸送容器表面から 1m離れた位置	0.1mSv/h を 超えないこと	0.039 mSv/h	0.037 mSv/h	0.038 mSv/h	0.023 mSv/h	0.040 mSv/h
温度測定 (補正された表面温度)* <sup>2</sup>		85℃を 超えないこと	52.8℃	53.4℃	54.1℃	43.7℃	50.4℃
気密漏えい (容器本体と蓋部及び オリフィス部の密封部)		1.33×10 <sup>-3</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s を超えないこと	2.38×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s	4.46×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s	4.18×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s	4.64×10 <sup>-5</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s	3.15×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s
圧力測定		初期充填圧力が 設定値以下であ ること	19.78kPa (設定値以下)	19.89kPa (設定値以下)	19.91kPa (設定値以下)	44.81kPa (設定値以下)	19.94kPa (設定値以下)

注) \*1 : 承認容器登録番号

\*2 : 周囲温度 38℃条件下における表面温度となるように次式で補正した温度

$$(\text{補正温度}) = (\text{測定温度}) - (\text{周囲温度}) + 38^\circ\text{C}$$

N. D. : 検出限界未満を示す。

$$\left[ \begin{array}{l} \alpha \text{線を放出する放射性物質の検出限界} : \underline{0.01\text{Bq/cm}^2} \\ \alpha \text{線を放出しない放射性物質の検出限界} : \underline{0.05\text{Bq/cm}^2} \end{array} \right]$$

Bq : ベクレル 放射性物質が放射線を出す能力 (放射性物質の量) を表す単位  
(1秒間に原子核が壊変する数)

Sv : シーベルト 人間が放射線から受ける影響の度合いを表す単位